

# 紙上の卒業式「贈る言葉」

## 巣立ちの春に伝えたい言葉

どこにいても私たちは仲間

さくら国際高(上田市)学園長

荒井裕司 (72)

不登校を経験した生徒にとつて、卒業式は特別な晴れ舞台です。この時期ゆえ、断腸の思いで、関係者のみで実施し、百余名の来賓もお断りしました。

1月末、私が所属するボランティア団体「日本青少年育成協会」は新型コロナウイルス感染症に見舞われた中国・武漢の大学にマスクや体温計を送りました。中国語検定などで固い絆があるからです。送った段ボールに「山川異域 風月同天」の漢詩を記しました。奈良時代に唐の鑑真に來日を願って送った詩といわれます。「どこに住んでいても、私たちは仲間です」の意味のこの詩を見た大学では歓声が起き、会員制交流サイト(SNS)で反響を呼びました。

今年の卒業式は、60年前に小学校を卒業した私の同級生と、恩師が多数出席する予定でした。紙面をお借りして卒業生と仲間はこの詩を紹介し、「どこにいてもかけがえない友達」と伝えたいと思います。